

I-JAS 第四次データ 一般公開のお知らせ

このたび、I-JAS の第四次データを一般公開する運びとなりましたので、お知らせいたします。

内容

I-JAS 第四次データ 一般公開のお知らせ	1
1. 第四次データの言語話者グループ	2
1-1 第四次データの内訳.....	2
1-2 第一次公開から第四次公開までのデータの内訳.....	2
1-3 ID について.....	3
1-3-1 調査地 ID	3
1-3-2 調査協力者 ID	3
2. 一般公開の内容	3
2-1 調査内容.....	3
2-2 第四次公開で利用できるデータ	4
3. 第三次公開からの変更点【重要必読】	5
3-1 I-JAS 中納言のインターフェイスの変更	5
3-2 第一次～第三次データのミスの修正	5
3-3 フェイスシート情報の修正.....	6
4. お願い.....	6

1. 第四次データの言語話者グループ

1-1 第四次データの内訳

	言語話者グループ	調査地 ID	公開人数
1	中国語母語話者	CCH	50
2	タイ語母語話者	TTH	35
3	インドネシア語母語話者	IID	35
4	ドイツ語母語話者	GAT・GDE	35
5	フランス語母語話者	FFR	35
6	国内：教室環境学習者	JJC・JJE	25
合計			215

※複数 ID がある場合は、調査地が異なるだけです。

1-2 第一次公開から第四次公開までのデータの内訳

最終公開の予定人数、第一次公開から第四次公開までのデータの内訳は以下の通りです。

	環境／母語	最終公開 予定人数	第一次公開	第二次公開	第三次公開	第四次公開	
			2016年 5月	2017年 5月	2018年 5月	2019年 5月	
1	海外 (教室環境)	インドネシア語	50	15	—	—	35
2		スペイン語	50	15	—	35	—
3		タイ語	50	15	—	—	35
4		トルコ語	50	15	35	—	—
5		ドイツ語	50	15	—	—	35
6		ハンガリー語	50	15	—	35	—
7		フランス語	50	15	—	—	35
8		ベトナム語	50	15	—	35	—
9		ロシア語	50	15	—	35	—
10		英語	100	15	35	—	—
11		韓国語	100	15	35	—	—
12		中国語	200	15	35	50	50
13	国内	教室環境	100	15	25	10	25
14		自然環境	50	15	25	10	—
15		日本語母語話者	50	15	35	—	—
合計		1050	225	225	210	215	
累計		—	225	450	660	875	

1-3 IDについて

1-3-1 調査地 ID

調査地ごとの ID は、以下のようになっています。

- ・1つの国で調査地が1つの場合

言語の略称 1文字 + 国の略称 2文字

例) ベトナム語の「V」+ベトナムの「VN」

- ・1つの地域で複数の調査地がある場合

言語の略称 1文字 + 国名の略称や大学名の略称 2文字

例) 中国語の「C」+大学や地域から検討したもの「CM」 ※一部例外もある。

1-3-2 調査協力者 ID

調査協力者一人ずつに識別番号を付与しています。

調査 ID3文字+数字2ケタ 例) RRS01

対面調査では、基本的に、「調査地の ID の下 2文字」を呼称として使用しています。

例) 学習者 RRS01 の場合、調査地 ID は RRS なので、「RS さん」

2. 一般公開の内容

2-1 調査内容

I-JAS の調査では (1) 日本語を使った 6種類 12 のタスク、(2) 日本語能力テスト、(3) 背景情報の収集を行いました。お使いいただけるデータの詳細は以下の通りです。

(1) 調査内容

表 1. I-JAS のタスク一覧

	データの 種類	種 類	タスク 番号	タスクの名称	記号
対面調査	発話 データ	1	1	ストーリーテリング 1「ピクニック」	ST1
			2	ストーリーテリング 2「鍵」	ST2
		3	3	対話	I
			4	ロールプレイ 1 (依頼)	RP1
		4	5	ロールプレイ 2 (断り)	RP2
			6	絵描写	D
作文調査 (任意参加)	作文 データ	5	7	ストーリーライティング 1「ピクニック」	SW1
			8	ストーリーライティング 2「鍵」	SW2
		6	9	メール 1	m 1
			10	メール 2	m 2
			11	メール 3	m 3
			12	エッセイ	e

注) 作文調査は任意参加のため、対面調査の参加者全員には実施していません (有志のみ)。

(2) 日本語能力テスト結果

- ・ J-CAT (Japanese Computerized Adaptive Test)
- ・ SPOT (Simple Performance- Oriented Test)

(3) 調査協力者の背景情報 (フェイスシート : FS)

学習者の背景情報が確認できる資料です。FS は①I-JAS 中納言の検索結果の「フェイスシート」、②FS 用 URL、③一覧表、の 3 つの方法で確認できます。

②FS 用 URL は以下の URL より直接、個別のフェイスシートを閲覧することができます。赤字の調査 ID の部分を変更し、お使いのブラウザで検索してください。

<https://chunagon.ninjal.ac.jp/ijas-for-members/facesheet/CCM02>

③一覧表は、LSAJ の HP (<http://lsaj.ninjal.ac.jp/>) で掲載しています。

LSAJ > I-JAS 研究詳細 > I-JAS 関連資料 > (3) 調査協力者の背景情報一覧

注) 調査実施の詳しい情報は、添付の以下の資料をご覧ください。

プロジェクトレビュー : 迫田他 (2016) 「多言語母語の日本語学習者横断コーパス International Corpus of Japanese as a Second Language」

(4) 語数表

第四次公開分までの学習者、調査者の発話およびライティングの語数を各学習者のタスクごとに集計した一覧です。こちらも LSAJ の HP (<http://lsaj.ninjal.ac.jp/>) で掲載しています。準備が整い次第、HP に掲載します。

LSAJ > I-JAS 研究詳細 > I-JAS 関連資料 > (2) 語数表について

2-2 第四次公開で利用できるデータ

(1) 検索システム『I-JAS 中納言 第四次公開版』

- ・ 対面調査のタスク (表 1 のタスク番号 1~8、一部はタスク 6 を除く)
- ・ 日本語能力測定の結果 (J-CAT・SPOT)
- ・ 調査協力者の背景情報

(2) プレインテキスト (表 1 のタスク番号 1~8)

I-JAS 中納言の「検索結果」および「関連データ配布」からダウンロードできます。

(3) 発話の音声データ

I-JAS 中納言の「検索結果」および「関連データ配布」からダウンロードできます。

(4) 作文データ (表 1 のタスク番号 9~12)

I-JAS 中納言の「検索結果」および「関連データ配布」からダウンロードできます。

3. 第三次公開からの変更点【重要必読】

3-1 I-JAS 中納言のインターフェイスの変更

(1) 検索条件のデータセット

データセットの第四次データのチェックボックスを有効化しました。

(2) 案内ダイアログ

I-JAS 中納言のマニュアル、バージョン情報、関連データの所在が分かりにくいため、案内ダイアログボックスを作成しました。

今後 I-JAS 中納言にログインされた初回は表示されます。下部にありますチェックボックスにチェックを入れていただくと、2 回目以降は、表示されなくなります。

(3) I-JAS 中納言のトップ画面に「関連データ配布」遷移ボタンを追加

これまでは「中納言コーパス選択」画面からしか入れなかった「関連データ配布」ページに、I-JAS 中納言のトップ画面からも遷移できるよう、画面の右上にボタンを追加しました。

(4) 詳細な文脈情報画面の修正

検索結果のサンプル ID をクリックすると表示される「詳細な文脈情報」の見出し部分を固定しました。

(5) 検索結果の次ページの表示方法の修正

下部の「次へ」ボタンを押した場合、次のページの先頭にページが遷移するように修正しました。

(6) マニュアル

内容を更新しました。バージョンは、2019 年 5 月 Ver.3 です。

3-2 第一次～第三次データのミスの修正

第四次データの公開に際し、第一次～第三次データについても見直しました。その結果、これまでに公開していたデータでミスがあった箇所は修正いたしました。

第一次～第三次データを使用して研究を進めている皆さまは、今一度、確認をお願いいたします。

注) 修正した箇所は LSAJ の HP (<http://lsaj.ninjal.ac.jp/>) で確認できます。

LSAJ > I-JAS > 研究詳細 > I-JAS 関連資料 > (5)データ修正箇所一覧

3-3 フェイスシート情報の修正

トルコのデータで一部情報が間違っていて記載されていたため、修正しました。

(TTR56、TTR57、TTR58、TTR59、TTR60、TTR61)

4. お願い

4.1 ぜひ、第四次公開版の検索システムにアクセスしていただき、利用していただければと思います。その際、データの不備や不具合などがあった場合は、速やかにお知らせくださいますよう、お願いいたします。

4.2 I-JAS を利用して研究されたり、論文を書かれたりした場合は、I-JAS 利用の記載をお願いします。また、そのタイトル等の情報を事務局までお知らせくださいますようお願いいたします。差し支えなければ HP でご紹介させていただきます。

〈利用の際の引用文言例〉

「本研究（調査・発表・論文、etc.）は、JSPS 科研費 JP16H01934 「海外連携による日本語学習者コーパスの構築および言語習得と教育への応用研究」による成果「多言語母語の日本語学習者横断コーパス：I-JAS」および国立国語研究所機関拠点型基幹研究プロジェクト「日本語学習者のコミュニケーションの多角的解明」の研究成果の一部である。」

【連絡先】 必ず2つを同報でお願いします

迫田久美子 sakodak@ninjal.ac.jp

事務局 lsaj@ninjal.ac.jp

I-JAS プロジェクト事務局

統括責任者 迫田久美子

研究員 佐々木藍子・須賀和香子・細井陽子

国立国語研究所プロジェクトリーダー 野山 広

2019年5月10日